

襲名披露にあたつて

九月二十六日、二十七日の両日、歌舞伎座に於いて、襲名披露の会を開催致すこととなりましたので、六世、七世の両ご宗家に襲名についてお話をいただきました。

司会 共立女子大学助教授 近藤 瑞男

◇この度、二世藤間勘祖、七世藤間勘十郎を継がれること、心より御祝い申し上げます。

まず、勘祖をお継ぎになることについてお伺いしたいと思います。

勘十郎 私も九十歳になりました。娘には、

早くから勘十郎の名を継がせたいと思っておりましたが、なかなか良い機会がございませんで、今日になってしまいました。勘祖の名は、母の五世勘十郎が名のつておりましたんです。古い弟子には、そのことを憶えている者もおるようです。母が七十

歳頃でしたとと思います。

御存知のように、藤間には、勘兵衛という大きな名前があります。この名は昭和のはじめに、勘右衛門さんの所とトラブルがございました。今まで、そうした問題が起きましては、松縫さんがなくなつたばかりですし、大変不本意なことです。そこで、勘右衛門さんのお宅とも何度も話話し合いまして、勘兵衛の名は、勘十郎と勘右衛門両家で守つて行きましたよ」ということに致し



五世宗家 勘十郎



六世宗家 勘十郎



七世宗家 康詞

も大変面白いものでした。新派では『婦女系図』の『湯島』を新しく作つたりもしました。思い出しますと色々なことをしておりますね。

◇康詞さんが勘十郎になるにあつたのお考えは。

康詞 勘十郎の名は大きなものですから、きちんと受け継いでいかなければと考えています。

娘の私、そして孫の遼太へと、父の意志を大切にしたいと存じています。

◇何かなりたいこと等は。

康詞 私は正直に申しますと、踊ることが好きなんです。振り付けのお仕事は大切ですけれど、踊りたい、そう思ってきたのです。

私の場合、父の傍らにおまりましたから、歌舞伎の役者の皆さ

んとのつながりもございましたし、ごく自然な形で振り付けの仕事も始めました。私は恵まれております。曲を聞いて今すぐ作れと言われば、即座に作る訓練もされましたし。

先日私のことを「劇場振り付け師」と紹介して下さる方がいて、なる程と思いました。そういう言葉でいわれた時、自分の立場がとてもはつきり見えたような気がしたんです。先程、踊るのが好きだと申しましたけれど、今、振り付けのお仕事も、大変興味深くなつて参りました、これからもいただいた仕事は大切にしていきたいと思っています。

◇お好きな踊りは。

康詞 歌舞伎のお仕事が多いせいでどうか、日本舞踊の世界をやや客観的に見ることができるのかもしれません、舞踊は歌舞伎から出ているものが多いとはいえ、歌舞伎の方々と同じやり方ではとてもかなわない。日本舞踊家として、何か違うやり方でやってみたいと思うのです。

昨年『うかれ坊主』を踊りました。私が一度、素踊りであるのようになつておけば、他の方も他の曲でできるものがあるでしょう。先日の『闇の扉』も普通ならば女で、しかも小柄な私が勘兵衛をやるなんてとんでもないことですけれど、素踊りにして、あの曲の非現実的でロマンティックな部分をテーマにして作つてみたわけです。こうした古典を見直して、舞踊家としてのものをつくり上げたいというのが、今、私の願いなんですね。

◇宗家藤間会のあり方等については。

ました。流祖として大切にして行きたいと思っているんですよ。

◇勘十郎家と勘右衛門家がそのように話し合いをなさつたというのは、今の日本舞踊界にとつて大変意義のあることです。ところで六世宗家が勘十郎の名を継がれた当時のことをお聞きしたいのですが。

勘十郎 私は、二十七歳の時に継ぎました。

それとともに、六代目尾上菊五郎さんの振り付け師になつたのです。六代目さんには、本当にお世話になりました。私が素踊りで舞台に立つようになりましたのも、六代目さんのおすすめですね。『羽根の禿』から『うかれ坊主』に替る振り付けや『藤娘』、『船弁慶』等が思い出深いものです。

新しい曲では『佐野源左衛門』や『柏の若葉』が自分としては印象深いものですね。

振り付けの他、東映歌舞伎の頃から演出の仕事も致しましたし、復活狂言のお手伝い等

康詞 今思ひますのはね、父が勘十郎の内に

私自身のやりたいことを皆させてもらつたと
思うんですよ。藤間会の組織もきちんとして、
会則や名簿も整理されて来ましたし。会報も

こうして年一回、出せるようになりました。

十年前には、会費の件さえおぼつかない状態

だつたんですから。これも皆さんのお努力のお

かげだと感謝しているのです。役員会をつく

り、総会も開かれるようになって、お弟子の

皆さんのが独自に運営して下さるようになった

のは、私とてもうれしいのです。

◇先日、金沢で開かれた「瑞絵会」も大成功

だったようですね。

康詞 組織がちゃんとして来て、地方の方々

とのつながりも親密になつて来きました。

金沢での「瑞絵会」はオーケストラとの共

演を致しました。オーケストラの方も大変喜

こんで下さつて、こうしたことを通じて藤間

会という組織が対外的に認められたように思

います。経済的には大変ですが、こうしたこ

とは長い積み重ねが大切なことですから皆さん

の御協力を得て、一回一回大切に続けて行き

たいですね。

◇そうなりますと会報も増え大きな意味を持つ
つように思います。

康詞 会の皆さんの中を取りもつ意味でこの

会報も充実させて行きたいですね。皆様の御

意見等も、載せられればと考えているのです
けれど。こうしたことは本当に五年十年かか

ることですから、これからはより活発に、充

実した藤間会になつてほしいと思っています。

が、何分にも皆様の御力添えがなくてはでき

ないことですので、この紙面をかりて御願い

したいと思います。

◇それでは、勘十郎襲名披露の会についてお

伺いたいのですが。

勘十郎 九月二十六日、二十七日の二日間、

開催します。この会には、沢山のお弟子の皆

さんにお演していただきたい。皆さんと共に、

新しい名を康詞に継がせたいと思っています。

アメリカからも出て下さる方がいらっしゃる

し、もちろん、歌舞伎の方々にも御出演願い

ます。

◇最後に六世宗家から会員の皆さんに一言。

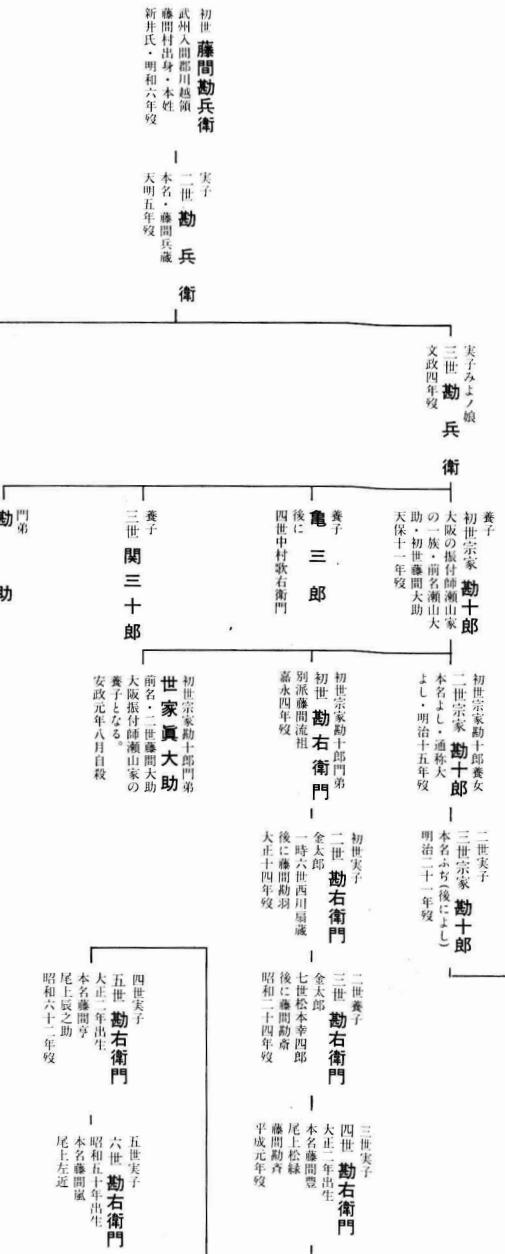
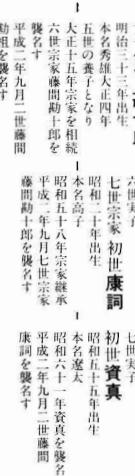
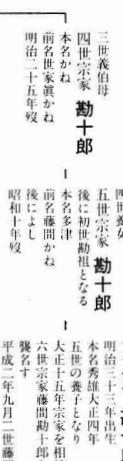
勘十郎 踊りは、むずかしいものですよね。
好きでなくちやできません。私もまだ勉強
しなければなりませんけれど、好きでここ
まで続けて来たのですね。皆さんにももつと
もっと勉強していただくように、私も名を改
め、若々しい気持ちで頑張ります。

藤間会も、いつまでも家庭的で暖かな結び
つきをもちながら今の時代を発展していく
娘は傍らにおいて、私のことを一番知つてい
てくれますから、安心です。

これから会にむけて増々忙しくなりますが、
どうかよろしくお願ひ致します。



藤間宗家略系図



三世妻みよ

四世勘兵衛

五世勘兵衛

六世勘兵衛

七世勘兵衛

八世勘兵衛

九世勘兵衛

武州入郡川越領
藤間村出身・本姓
新井氏・明和六年歿

一世 勘兵衛
二世 勘兵衛
文政四年歿

三世 勘兵衛
四世 勘兵衛
五世 勘兵衛
六世 勘兵衛
七世 勘兵衛
八世 勘兵衛
九世 勘兵衛

実子
本名・藤間兵藏
天明五年歿

義子
本名かね
前名世家真かね
明治二十五年歿

義子
本名かね
前名世家真かね
嘉永四年歿

義子
本名よし
前名藤間かね
天保十一年歿

義子
本名よし
前名藤間大助
安政元年八月自殺

義子
本名よし
前名藤間大助
昭和十一年歿

4